



**させほ夢大学**

発行●公益社団法人 させほ夢大学  
編集委員会  
事務局 / 〒857-0863  
長崎県佐世保市三浦町4-30・松蔵ビル3F  
TEL.0956-25-9555 FAX.0956-25-9545  
http://www.yumedai.com/  
E-mail:sasebo\_yumedai@yahoo.co.jp

開催ご案内 25-9556

# 夢のつづき

## させほ夢大学会報

No.277 (2019・2)

平成30年度  
第10回

2019年 **2月21日(木)**

アルカスSASEBO 大ホール

●開 場 午後5:30

●講 演 午後6:30

今回は「この辺りの者でござる」と、独特な発声でお馴染みの狂言師の野村萬斎さんをお迎えします。

祖父の故六世万蔵及び父の万作さんに師事、東京藝術大学音楽学部能楽専攻を卒業。1994年萬斎を襲名されました。

NHK大河ドラマ「花の乱」(1994年)や朝の連続テレビ小説「あぐり」(1997年)、2000年のスペシャルドラマ「蒼天の夢」等に出演。Eテレでは、子供向け番組「にほんごであそぼ」に2003年の放送開始時からレギュラー出演を続け、狂言を楽しくわかりやすく伝えておられます。

映画『陰陽師』『のぼうの城』の主役で日本アカデミー賞優秀主演男優賞を受賞。その他に芸術祭優秀賞、



朝日舞台芸術賞など数多く受賞され、その演技力が大きく評価されています。

狂言は、日常の中に、庶民の誰もが持っている生活感情を洗練された笑いで、表現しています。

古典芸能として、単に過去を守り続けるだけでなく、広い視野をもって、真摯に現代に通用する表現に取り組まれています。

2020年東京五輪・パラリンピック大会の開閉会式のチーフ・エグゼクティブ・クリエイティブ・ディレクターに就任。

今回は、講演(解説)後に、「佐渡狐」と「首引」の狂言の実演があります。

どうぞお楽しみください。

のむら まんさい  
講 師 ● 狂言師 **野村 萬斎氏**

テーマ ● **What's 狂言**



### 次回のご案内

■と き / **4月18日(木)** [開講式]

■講 師 / ジャーナリスト **長谷川 幸洋氏**

■テーマ / **安倍政権と今後の日本**

●1953年千葉県生まれ。慶應義塾大学経済学部卒業後、ジョンスホプキンス大学高等国際問題研究大学院で国際公共政策修士(MIPP)取得。77年中日新聞社入社、東京本社(東京新聞)経済部、ブリュッセル支局長、論説副主幹等を経て2018年3月退職。ジャーナリストとして活躍。政府税制調査会委員、規制改革推進会議委員等多数の公職を歴任。「日本国の正体 政治家・官僚・メディア 本当の実力者は誰か」「明日の日本を予測する技術」等著書多数。ネットやテレビ「そこまで言って委員会NP」等でも活躍中。

**今回は、狂言の実演があります。**  
**「夢のひろば」はありません。開場は午後5:30です。**

#### 野村 萬斎 氏のプロフィール

●1966年東京都生まれ。祖父・故六世野村万蔵及び父・万作に師事。重要無形文化財総合指定者。3歳で初舞台。東京藝術大学音楽学部卒業。「狂言ござる乃座」主宰。国内外で多数の狂言・能公演に参加し普及に貢献する一方、現代劇や映画・テレビドラマに出演・演出、NHK「にほんごであそぼ」等幅広く活躍。朝日舞台芸術賞等多数受賞の他、2018年毎日芸術賞千田是也賞受賞。著書多数あり。2020年東京五輪・パラリンピック開閉会式の総統括者に就任。





ケント・ギルバート氏

## 様々な日本観

佐世保市大宮町 吉次 公子

新春にふさわしく、立方、地方の息の合った長唄「島の千歳」に幕が開く。そして理事長の御挨拶、いつもユーモアがあつて会場にやさしい笑いが広がります。

1月の講師ケント・ギルバート氏。日本を好きだとおっしゃる今日の議題「面白大国ニッポン!」。いったいどんなお話をなさるのだろうか、楽しみにしていました。

様々な方面から見られた日本観。その中で一番印象に残ったのは、スクリーン一杯に映しだされた歴代天皇の時代、その各時代の世界の出来事でした。私達が学生時代、暗記させられたのは歴代天皇の名前でした。そして国内の出来事はよく教わりました。



■日本人以上に日本が大好きで、侍スピリット、正義感旺盛なケントさん。普通はなかなか気づかない「面白大国ニッポン!」の真髄を、たっぷり、熱く語って頂きました。佐世保市光月町●国松 仁志

■日本人より日本語がお上手なケント・ギルバート氏に、まず驚きました。日本に好意的な所見や観察をしっかりと話をしてくださいましたが、「平和ボケ」という言葉も聞かれ、平和な戦後74年にあらためて畏敬の念さえ覚えました。佐世保市早苗町●牧 多津江

■ケント・ギルバートさんが、47年前に佐世保市民だったとは初耳でした。「面白大国ニッポン!」。わかりやすく、面白く、ユーモアたっぷりの講演でした。ケントさんの本を、まずは1冊読んでみたいと思います。佐世保市権常寺町●原 美嘉子

■今日は、日本の今を思うケント氏のお話。憲法9条についてはニュースや街頭で見聞きしていましたが、あまり実感はありませんでした。自分の国が今後どう他国と交わっていくか、色々考えなければと思う講演でした。佐世保市木風町●西 照美

■ケントさんから日本人の良いところと悪いところを教えられ、もっとまじめに自分の国のことを考え、世界との付き合い方の難しさ、日本のことをよく知らなければと感じました。耳に痛いことも沢山お話しされ、勉強になりました。佐世保市大宮町●田中 美弥

■開口一番「お久しぶりです」。あの独特の語り、ユーモアたっぷりに話して下さいました。佐世保の須佐町に住み、暮らしていたという言葉に「オー」とどよめき。日本は大国ですかとの質問に「シーン」。日本だけでは守りきれない自国の事。もうチョット学ばなければならない。佐世保市赤崎町●木村 典子

## 「徹底議論」は発展への基盤

佐世保市重富町 白井 寛

「日本人の美德」に関する海外からの高い評価はよく聞いてきたが、日本人が今後の世界に生き残ってゆく、否、世界をリードする立場に立つ為には、ケントさんの「美德の裏返し」とも言うべき有意義な話が多く、改めて感心させられた。

その一つに外交面では、これまでの日本の「性善説」信奉のみでは危険である事。74年も戦争のない平和な日本は「争い事を好まない」という美德だとも言えるが、「議論を好まず、最初から最後まで譲歩してしまう」性癖は、「変化や失敗を極端に恐れる」日本人の悪癖に繋がっているようだ。この為に意思決定が遅れ、タイムリーに行動

できない結果となる。挑戦と変化は善である筈。自ら進んで変化し続けなければ衰退するのみ。組織における「年功序列の昇進制度」と社会における高齢者尊重。確かにこれらは日本の美德に繋がるものではあったが、カイゼン・改革を排除する現象を招いた。「出る杭は打たれる」とは、余計なことは言うな、先人先輩の言う事を聞いておればよい、という発想。これは厳しい論戦を避ける傾向を生んだ。然し戦後の日本経済を飛躍させた企業もある。その原点となったのは、組織に「出る杭は打たれる」を排除して「出る杭を求む」というカイゼン・改革を歓迎した企業である。

明治維新から150年。日本が世界から名実共に「大国」と評され、その責任を果たす

# 日本人以上に日本を知るケントさん

為の今後の課題は、ギルバート氏のご指摘どおり、教育の原点を見直して「論理的思考」に基づいて議論を活性化させるシステムの確立と訓練の実践ではないだろうか。

日本の精神はすごい！

佐世保市京坪町 太郎浦 幸子

紋付き、袴の正装での長唄「島の千歳」の舞は、貴重な生演奏に乗って、いやがうえにも新春気分を盛り上げられた。

夢大学は二度目の御登場と聞く。47年前に須佐町に住んでおられ「大の佐世保好き」と自称される氏は、恰幅もよく、亥年に相応しく迫力満点



ひろたろう 藤間裕太郎さんによる「長唄 島の千歳」

の講演は、90分をととても短く感じた。

世界地図を俯瞰するとき、島国でありながら悠々と世界で屈指の存在を示す日本。良く聞かれる問いに「日本のどこが好きか」と言われるが、「国民性。日本の精神はすごい！」の一言と仰る。自然災害の多発する国でありながらその際、略奪、暴動など起こさずお互いに共通意識があるとの事。国内外に何かと物議を醸し出すトランプ大統領は、「変革をもたらす」という公約で相手候補に大差をつけて大統領になった由。

「日本の国益は国民が決める、その為の政治家を選ぶ」。今年行われる選挙では、心して臨まなければと思った。

## 国民性

西松浦郡有田町 庄村 雅子

鼓と三味線の音色は、お正月に相応しい演目で懐かしく見入りました。最近では元旦から大型店が営業して、若い人は初売りにソワソワしてゆっくりすることもなく、忙しい元旦のように思われます。

ケント・ギルバート氏は、「佐世保に住んでいました。佐世保大好き。」との事で、少し嬉しくなりました。2600年の間滅びる事なく、素晴らしい伝統と歴史のある日本。その国民性が好き

で、私自身も日本に生まれ住んで良かったと思っっています。お隣の韓国とは何かと厳しい状況ですが、日本人から見たら理解しにくい面があるようにも思えます。中国や北朝鮮とも仲良くできたらいいとは思いますが、まだまだ時間がかかりそうです。

カルロス・ゴーンさんの拘留については、世界中の話題になっていますが、我が国の裁判なので、他国の人がとかく言えないのではないかとも思います。今後、悪は悪としてしっかり検証し納得いく説明がなされる事でしょう。

日々、何事もなく暮らしている今の生活が平和ボケでしょうか？ 周辺の国と日本との関係は色々問題もあるでしょうが、全世界の人々が平和な暮らしができる事を願っています。

## 性善説を信じるな

佐世保市梅田町 森 洋子

「2018年の年間販売数量で、28年ぶりに水がコーヒを抜き首位に（飲料総研調べ）。蛇口をひねれば安全で美味しい水が飲めるのにわざわざ買うなんて…。一部の美食家か健康マニアのものと思っていたのも今は昔。異常気象や災害に直面し、対価を払っても水を確保するのが日本人の当たり前前感覚になってきた。「水はタダ」という常識が、またひとつ欧米並に覆ったと言えるかもしれない。

日本人が当たり前と思っっている考え方や行動の中に多くの美点を見る一方で、それが対外国や国防の面については悪影響を及ぼすというギルバート氏の意見には、衝撃を受けた。外資については「性善説」を信じるな、だそうだ。

ギルバート氏が大好きだと言うイベントは、弁護士には必須の訓練だ。氏が女子大生に説明した如く、物事を多面的に捉える訓練にもなるのだそう。我々一般人も、決して「表」だけを見るのではなく、違う立ち位置から「裏」を考えてみる事が、今後ますます必要になってくると思う。個人間でも、私の「常識」はあなたの「非常識」と言う場合も多々あるのではないだろうか。

やっぱし日本っていいなア



ケントさんの日本愛は如何に

自分の事は、なかなか客観的に見る事ができないものだ。世界は広い。日米事情に通じるギルバート氏の話は貴重だ。氏の話聞いて、もっと日本について学び、氏の意見もまた違う面から見る目を養いたいと思った。

## 講演を聴かれた感想をお待ちしています!!

◎600字程度にまとめてお書きください。短文でも結構です。掲載分にはささやかですが記念品をお送りします。締め切りは講演日の1週間後(必着)といたします。感動がさめないうちなるべく早くお出してください。◎せっかく頂いた原稿でも、紙面の都合上掲載されない場合があります。また、一部省略させていただくこともありますので、ご了承ください。

あて先は、〒857-0863 佐世保市三浦町4-30 松蔵ビル3F させば夢大学 事務局



吉井町の宝ともいふべき文化財や自然景観は、これまで紹介したものに止まらない。

県の天然記念物指定の原生林「吉田大明神社叢」や、その神社の地区に伝わる国選択無形文化財「お蔵入れ儀式」(上吉田地区)、さらには、市の文化財「猪神祭り」(乙石尾地区・上橋川内地区)、「牛神祭り」(踊瀬地区)等の伝統行事もある。また、町内に八基現存する「石橋」も市の文化財に指定されている。

石橋の中で、大正十一年に建設された県内最長で幅六・三メートルの「樋口橋」は町の中心部にあり、皇居二重橋を模したとされる二連アーチの美しい造りで、三年後には現役で百周年を迎える。



【出典】 樋口橋、佐世保市  
CCライセンス (<http://creativecommons.org/licenses/by/4.0/deed.ja>)

これらの文化財は、保存・継承され、すぐれた自然景観は保全されてこそ価値があるが、本質を理解し活用することでより光彩を放つことになろう。

そこで筆者は、平成二十一年に地域の有志を中心に「吉井エコツーリズムの会」を立ち上げ、仲間とともに様々なボランティア活動を行ってきた。

現在二十余名の会員で、毎月の定例会のほか福井洞窟や直谷城跡などを巡りながら歴史体験をする「歴史の福井谷体験ツアー」、五蔵大池のハマダイコンの花の時期に「五蔵の春満喫ウオーク・ツアー」などを毎年実施し、同時に石橋の除草管理や直谷城跡の案内板設置・除草作業等を行っている。

平成三十年度には、市教育委員会の指導により、こうした町内の史跡管理や伝統行事を継承する地区、個人、団体八者を対象に、「吉井地区文化財保存連絡会」が設立された。

今後、関係者が連携して、文化財の保存・継承に努めることとなる。

老朽化した吉井地区公民館と市役所支所を併せた建替え計画が、平成三十二年年度完成予定とされている。

翌年度には、そこに併設される福井洞窟発掘調査の成果を展示する「ガイダンス(仮称)施設」のオープンも見込まれている。

筆者にとって直谷城跡とともにひとときわ思い入れの深い史跡福井洞窟が、同施設を通じて詳細に分り易く紹介されることは無上の喜びである。

同施設完成の暁には、これを活用しながら豊富な郷土の資源を地域振興に活かす活動を、仲間とともに続けたい。

こうした取り組みが次世代の人々にも受け継がれ、より発展することを念じつつ、拙稿「ふるさと吉井紀行」の結びとしたい。

## 事務局だより

★ケント・ギルバートさん、ありがとうございます

新年にふさわしい厳かな日本舞踊に続いて登場されたケントさん。航空機の到着の遅れなどで、舞台裏でのPC準備作業が終了したのは「夢のひろば」開始直前でした。

スクリーンを使用しての講演では、テレビでおなじみの大きなジェスチャーが印象的でした。さまざまな項目について独自の見方を、流暢な日本語で笑いを交えて熱心に講演されました。

★ご執筆ありがとうございます

和田隆さんの「ふるさと吉井紀行」は、今月号が最終回です。福井洞窟・直谷岩陰遺跡・直谷城跡・安徳天皇伝説・三基の福井川コンクリートアーチ橋・五蔵大池・お橋観音と牧の岳遊歩道・多様な文化財等、郷土吉井町の貴重な遺跡や自然景観を紹介して頂きました。一年間ご執筆頂き、ありがとうございました。

★来年度のふるさと紀行は、佐世保市文化財課で遺跡発掘をされている松尾秀昭さんによる「地中に眠る戦国物語」です。どうぞご期待ください。

★マナーについて

- ① 座席とりはおやめください。
- ② 講演開始後の入場はご遠慮ください。

★館内の空調について

アルカスSASEBO大ホールの空調は、部分的な調整ができません。できる限りの対応をしていますが、フロア及び座席の位置によってはかなりの温度差が生じることがあります。十分に準備をされた上でご出席ください。

★平成31年度の受講生募集について

今回もたくさんのご応募を頂き、ありがとうございます。当選結果は2月中旬頃お届けする予定です。今しばらくお待ちください。

なお、当選された方は、当選通知に同封の払込票で、期限の3月1日(金)までに郵便局よりお振り込みください。期限までにお振り込みがない場合は、キャンセル待ちの方を繰り上げ当選としますのでご了承ください。期限までに振り込まれた方には、3月中旬頃に学生証をお届けする予定です。

★アルカス駐車場のご利用について

会員の方より、前回の講演会の際、アルカス駐車場で、車の前方部分が他の車にあてられてかなり損傷していたとの連絡を頂きました。駐車場ではお互いに、十分に注意して頂きますようお願い致します。